

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【公表番号】特表 2020-503165 (P2020-503165A)

【公表日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【年通号数】公開・登録公報 2020-004

【出願番号】特願 2019-556554 (P2019-556554)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/24 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 2/24

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近位端部及び遠位端部を有するカテーテルと、  
前記カテーテル内に挿入されるように構成され、心室アンカ及びドライバを有する心室アンカ給送サブシステムと、  
前記カテーテル内に挿入されるように構成され、前記カテーテルを通して近位方向に延びる縫合部及び半径方向に拡大可能な弁尖アンカを有する弁尖アンカ給送サブシステムと、

を有し、

前記ドライバは、前記カテーテルを通して近位方向に延びる前記心室アンカを展開させるように構成されている、ことを特徴とする新生腱索展開システム。

【請求項 2】

前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカは綿撒系を含む、ことを特徴とする請求項 1 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 3】

前記綿撒系は、前記縫合部の近位への後退により、細長いストリップ状の構成から、半径方向に拡大され軸方向に縮小された構成に変形可能である、ことを特徴とする請求項 2 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 4】

前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカは、2 つのシート状の材料の間に挿入された縫合部を含む、ことを特徴とする請求項 1 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 5】

前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカは、弁尖を通して前進可能な第 1 の縮小断面から、前記弁尖の一方の側に接触する第 2 の拡大断面へと拡大可能である、ことを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 6】

縫合部ロック給送サブシステムをさらに備え、

前記縫合部ロック給送サブシステムは、前記弁尖アンカ給送サブシステムの前記縫合部及び前記心室アンカ給送サブシステムの心室アンカ縫合部に亘って進むように構成された縫合部ロックを有する、ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の新生腱索展開

システム。

【請求項 7】

前記縫合部ロックは、前記縫合部の長さを固定するためロックするように構成されている、ことを特徴とする請求項 6 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 8】

前記心室アンカ給送サブシステム及び前記弁尖アンカ給送サブシステムは、前記カテーテルを同時に又は連続的に占有するように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 9】

前記心室アンカ給送サブシステム、前記弁尖アンカ給送サブシステム及び前記縫合部ロック給送サブシステムのいくつかが又は全ては、前記カテーテルを同時に又は連続的に占有するように構成されている、ことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 10】

前記心室アンカを遠位方向に展開するように構成され、かつ前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカを近位方向に展開するように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 11】

前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカは、前記心室アンカ及び前記ドライバが前記カテーテルから取り除かれた後、連続して前記カテーテルに挿入される、ことを特徴とする請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 12】

前記半径方向に拡大可能な弁尖アンカ、前記弁尖アンカ及び前記ドライバは、前記カテーテル内に予め配置される、ことを特徴とする請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 13】

前記弁尖アンカ給送サブシステムは、前記カテーテルの前記遠位端部を通して前進するように構成された組織貫通要素をさらに有する、ことを特徴とする請求項 1 ～ 12 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 14】

前記弁尖アンカ給送サブシステムは、組織貫通ガイド要素を有し、

前記組織貫通要素は、前記組織貫通ガイド要素から前進するように構成されている、ことを特徴とする請求項 13 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 15】

前記組織貫通要素は、弁尖を通して前進し、前記弁尖アンカを前記組織貫通要素から展開させるように構成されている、ことを特徴とする請求項 13 又は 14 に記載の新生腱索展開システム。

【請求項 16】

前記心室アンカはブレード部分を有する、ことを特徴とする請求項 1 ～ 15 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 17】

前記心室アンカは機械的に拡張可能である、ことを特徴とする請求項 1 ～ 15 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。

【請求項 18】

前記心室アンカは、とげのあるステント状構造体又はフランジ付きでカバー付きのステントを有する、ことを特徴とする請求項 1 ～ 15 のいずれかに記載の新生腱索展開システム。